

# 知事会見 Q&A:外国人ドライバー受け入れのモデル事業を説明

25.06.05

6月補正予算案に関する知事会見の質疑で、県は外国人ドライバー受け入れのモデル事業を明言した。事業費は約500万円で、うち約390万円を人材紹介会社への委託(募集・採用、在留・免許切替サポート)に充てる。対象は3名を想定し、雇用主体は県内企業。県は採用・入国手続等の支援を担う。運転免許は普通から中型へ段階的に取得。自動車学校と連携し講習を丁寧に行う。ドライバー不足への対応と制度面の検証を行い、成果が得られれば拡大を検討する。タイとの関係性も踏まえ候補者を想定している旨が説明された。行政が主導して雇用モデルを整える点が特徴で、他分野への援用も視野に入れる。企業負担・県支援の役割分担を明確化し、実装性を重視する。質疑ではトラック分野の日本語要件や横展開の可能性にも触れた。ドライバー受け入れの具体スキームを示した答弁である。



西日本新聞

外国人ドライバーの受け入れ事業につい...

<https://www.pref.saga.lg.jp/chiji/kiji003114068/index.html>

# 佐賀県：企業向け無料相談窓口「さが外国人材雇用サポートセンター」開設告知（第二弾）

25.06.30

県は、外国人材の採用・定着に関する無料相談窓口「さが外国人材雇用サポートセンター」の開設を告知した。オープニングセレモニーは7月7日、会場は佐賀県国際交流プラザ（佐賀商エビル1階）。センターは企業向けの相談受け付けに加え、セミナーやマッチングの情報発信拠点として機能する。隣接する外国人向け相談窓口「さが多文化共生センター」と連携し、「SAGA OneS」としてワンストップ体制を構築。県内関係機関と連携し、課題解決まで伴走支援する点を強調している。佐賀型外国人材雇用支援パッケージの第二弾として、企業の受け入れ基盤を強化。第三弾には業界特化型セミナーの開催が示され、施策の連続性が示された。開設により、採用初期から定着フェーズまでの相談導線が明確化される。県内企業の実体課題に合わせた支援を想定し、実装性の高い運用を志向する。産業人材課が問い合わせ窓口として案内している。



NHKニュース

さが外国人材雇用サポートセンター」が佐賀市に...

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003114550/index.html>



# 嬉野温泉の老舗旅館内に日本語学校「ICA国際会話学院 嬉野校」開校

25.04.23

和多屋別荘の敷地内に日本語学校「ICA国際会話学院 嬉野校」が新設された。運営は株式会社アイ・シー・エイで、イノベーションパートナーズが構想・誘致を支援。観光地の人手不足への対応と地域定着を目指し、学びと就労を組み合わせる“採用直結型”モデルを採用する。入学予定者はアジア5カ国から41名(平均25.9歳)。授業は4月17日に開始し、4月25日に入学式を実施。学内では日本語教育に加え、地域企業でのアルバイトを通じた接点づくりを進める。卒業後は嬉野市内での正社員就職・定住を目標に掲げる。旅館という地域資産を教育機能と結び、宿泊・教育・雇用を一体化する取り組みが特徴だ。地域創生のモデルケースとして他地域展開も視野に入れると述べている。学校公式サイトでも入学式の実施を報告している。観光と教育の連携による新しい人材育成の枠組みである。



西日本新聞  
老舗温泉旅館「和多屋別荘」に日本語学校が...


[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000010.000086910.html](https://prt看mes.jp/main/html/rd/p/000000010.000086910.html)

# 佐賀大学:外国人留学生向け「日本で働こう！就活スタートアップセミナー」告知

25.05.21

佐賀大学国際交流推進センターは、外国人留学生を対象とする就活スタートアップセミナーの開催を告知した。案内には2025年5月21日付でNEW表示があり、日本語・英語の二言語で実施される旨を記載。運営は(株)パソナ/JOB博運営事務局で、就活の基本と在留資格に関する情報の理解を促す。留学生の県内外就職の起点づくりを狙い、関連イベント情報も併載されている。学内のキャリア支援情報として継続的にアップデートされ、アクセス性が高い。オンラインや対面の形式を柔軟に使い、参加しやすさに配慮。大学・企業・支援機関の連携を踏まえ、早期の情報提供を重視している。留学生の就活準備を底上げする啓発的な位置づけの告知である。在留資格や採用制度を踏まえた実践的な内容が期待される。地域で学ぶ留学生のキャリア形成支援の一環となる。



 佐賀大学国際交流推進センター  
佐賀大学外国人留学生地元就職促...

<https://www.irdc.saga-u.ac.jp/foreignstudent/work/>

# 朝日新聞: 佐賀地裁の不法就労事件ルポ(有明海の海苔養殖の手伝い等)

25.06.25

朝日新聞は、ブローカーに誘われ来日した男性が、資格外活動の許可なく有明海の海苔養殖を手伝い報酬を受けたとして、佐賀地裁で罰金30万円の有罪判決を受けた事案をルポで伝えた。期間は昨年10月16日から今年1月27日までとされ、誤った情報に依拠した就労の実態が描かれる。裁判所はブローカーにだまされた疑いもあるとし、一定の酌量事情に言及した。記事は不適正な媒介が生むリスクと、当事者が背負う債務・帰国の現実を示す。地域の一次産業での人手不足の背景も垣間見え、制度外就労の課題を浮き彫りにする。適正な受け入れスキームと周知の重要性を示唆する内容である。県や関係機関の相談窓口整備が、予防策として意味を持つことを改めて示す。読者に多文化共生と労働ルールの双方の理解を促す構成となっている。ルポとして当事者の経緯や判決の要点を具体的に伝えている。



朝日新聞

日本で働ける」ブローカーは言った 信じた末...

<https://www.asahi.com/articles/AST6N2RCRT6NTTHB003M.html>

# Aフーズさが、ベトナム人実習生の逮捕で謝罪文

2025.07.31

佐賀県伊万里市の住宅で親子が殺傷された事件で、強盗殺人などの疑いで逮捕されたベトナム国籍の技能実習生が勤務していたJAフーズさが（佐賀市）は31日、被害者家族や近隣住民ら関係者らへの謝罪を文書で発表した。JAフーズさは謝罪文書の中で、事件で命を落とした被害者と遺族に「謹んでお悔やみを申し上げます」とした上で、近隣住人や同社の顧客、農家・組合員ら関係者に「多大なご迷惑と心配をおかけした」と陳謝。原因究明や再発防止に向けて、警察の捜査に全面的に協力するとしている。



任意同行に応じるダム・ズイ・カン容疑者（左から4人目）=27日、佐賀県伊万里市

# インドネシアの実習生が地元住民と夏祭り 約420人が参加【佐賀県伊万里市】

2025.08.20

7月伊万里市黒川町で初めて夏祭りが開かれ、地元の住民とインドネシアの技能実習生が交流しました。伊万里市黒川町は造船業が盛んで、300人以上のインドネシアの技能実習生が船づくりに関わるなど人口の約2割を外国人が占めています。

7月開かれた夏祭りは、町民と技能実習生などの交流を促そうと初めて企画され、約420人が参加しました。インドネシアの実習生は正装の「バティック」に身を包み地元の住民と一緒に踊ったほか、インドネシアの国歌を披露するなどして交流していまし



# 外国人が大町町で“夏”堪能 技能実習生ら 約30人が祭りへ【佐賀県】

2025.08.22

佐賀で暮らしている外国人に日本の文化に親しみ、地域住民と交流してもらおうと浴衣や夏祭りを体験するイベントが大町町で開かれました。「かわいい、ありがとうございます」「すごくうれしいです」このイベントは大町町で日本語教室を運営するボランティア団体が開催したものです。

【おおまちこりすくらぶ 大串祥子さん】

「日本の夏祭りを体験しつつ盆踊りを踊ったり町民の人といろいろ交流してほしいなと思って企画した」この日は、県内で技能実習生として働くインドネシアやフィリピン、ミャンマーなどから来た約30人が参加。好きなデザインの浴衣を選び帯の結び方などを習いながら日本人と交流を深めました。




# 佐賀・伊万里の強盗殺人 技能実習生を起訴 佐賀地検

2025.08.17

佐賀県伊万里市で先月、母娘が死傷した強盗殺人事件で、佐賀地検は17日、ベトナム国籍の技能実習生、ダム・ズイ・カン容疑者（24）=同市=を強盗殺人、同未遂、住居侵入などの罪で佐賀地裁に起訴した。起訴状などによると、カン容疑者は7月26日午後4時20分ごろ、同市東山代町長浜の住宅の玄関から包丁（刃体約13.5センチ）を掲げながら侵入。日本語講師の棕本舞子さん（当時40）と70代の母親を包丁で脅し、棕本さんから現金1万1千円を奪った後、2人を2階に連れて行こうとし、抵抗した母親の首付近を突き刺すなどして約1カ月のけがをさせたとされる。



送検されるベトナム国籍の技能実習生、ダム・ズイ・カン容疑者=2025年7月28日午後0時46分、佐賀市の佐賀南署、小宮路勝撮影 

# ベトナム技能実習生の逃亡5500人で国別最多 不法滞在で一部は犯罪に手を染める悪循環

2025.07.28

福佐賀県伊万里市の母娘強盗殺人事件で、佐賀県警に逮捕されたベトナム人の男（24）は現役の技能実習生だった。技能実習制度をめぐっては、よりよい待遇を求めるなどして実習生の逃亡が頻発。令和5年は約9800人が逃亡し、うちベトナム人は約5500人で半数以上を占めた。同制度は2年後に新たな「育成就労」に変わる。新制度では職場を移ることも可能となるため、就労生が都市部へ集中する懸念も出ている。



盗殺人事件のあった現場周辺で警戒にあたる警察官＝26日夜、佐賀県伊万里市

出典：<https://www.sankei.com/article/20250728-2XRYDBSWXZAMJH2MHSCUAVAT4M/>

# 「技能実習生なんて受け入れるな！」 「外国人は出ていけ」と憤る人が知らない“データの真実”... 外国人による犯罪は本当に増えているのか？

2025.08.14

2025年7月27日、佐賀県伊万里市に住むベトナム人技能実習生の男が、強盗殺人などの疑いで逮捕された。近くに住む日本人女性を脅し、現金1万1000円を奪ったうえ、ナイフで首などを切りつけて失血死させたとされる。男は黙秘を続けており、詳しい動機は不明だ。事件は周辺地域に大きな衝撃を与え、住民の不安と動揺はいまも収まっていない。悲惨な事件である。いかなる理由があろうと、こうした凶悪犯罪は断じて許されない。筆者もこの男に対し、強い憤りを覚える。被害者の方に心から哀悼の意を表するとともに、犯人には法に基づく厳正な処罰が下されることを切に願う。



最近過熱する「反外国人感情」。冷静に状況を見つめると、見落としている側面があらわになってきます  
(写真：hamahiro/PIXTA)

# 伊万里強盗殺人「外国人の差別や偏見につなげないで」 伊万里市長が冷静な対応呼びかけ【佐賀県】

2025.08.04

伊万里市の深浦市長は7月市内で発生した外国人技能実習生による強盗殺人事件をめぐり「事件を国籍に基づく差別や偏見に結び付けてはならない」と冷静な対応を呼びかけました。深浦市長は4日の定例会見で7月伊万里市の住宅で親子が切りつけられて死傷し、近くに住むベトナム人技能実習生が強盗殺人の疑いで逮捕された事件について、「尊い命が失われた痛ましい事件」と述べました。また、市民から相談や問い合わせが寄せられているということで、市は防災危機管理課を窓口にして対応しているということです。その上で、市内で約1000人の外国人が生活し真面目に働いているとして冷静な対応を呼びかけました。



# 増える外国人 「いないと回らない」ノリ養殖人手不足、 有明海でも 言葉や文化の壁、潜む不安 佐賀県

2025.12.05

佐賀県内で暮らす外国人が増え続けている。さまざまな産業での人手不足や人口減などが背景にあり、人権週間（10日まで）に合わせて変わりゆく地域や多文化共生の現場を見つめる。全6回。日本人と外国人が2人一組で小舟に乗り、ノリ養殖の網が張られた有明海で作業していた。11月下旬、佐賀市川副町沖。「お昼にしようか」。朝からの仕事が一段落し、漁業者の川崎賢朗さん（65）が声をかけた。インドネシア出身のカカ・ラムダニさん（22）は川崎さんらと漁船のデッキに集まって弁当を食べ、持参した故郷のドライフルーツを振る舞った。



佐賀新聞

増える外国人 「いないと回ら...